

茨木 SC 研究会 日記

2012 年 12 月開催 いくつもある主訴 の巻

「主訴」とは、1 ケースにつきひとつだろうか？

よく考えてみれば、クライアント、クライアントの家族、カウンセリングを依頼してきた人…ケースに関わる人の分だけ主訴はあるわけで。

今回は、1 回限りで中断・終結となったケースをだしあってみたが、その中で、特に、カウンセリングを依頼してきた人の主訴、という点が話題にあがった。

面接前から既に何らかの役割（告げる役割、正す役割、聞き出す役割などなど）が S C へ託されていることも多い。そこが汲み取れきれず、付き合いきれず、「依頼人もクライアントとも、なんか噛み合わないな…」とものをうみだしている場合が多くあるのではないだろうか…

次回も、引き続き検討していく。

記 録 : ほんのり (臨床心理士)

日 時 : 2012 年 12 月 22 日(土) 17:00-19:30

場 所 : 茨木市男女共生センター ローズ WAM

参 加 者 : 5 名 (大阪 SC、兵庫 SC)

本日の話題

1. 自分の職場の組織図を書いてみる
2. 1 回のみで終わったケースについて検討
3. _____